

第  
Ⅲ  
章

## 帰国の引越

本帰国が決まったらすぐに取り掛かりたい引越しの準備。  
日本に持って帰るか、処分するか、どんなに仕分けをしよう。  
日本の住宅の大きさを考えて、荷物を選ぶことも重要なポイント。

## 準備 ①

## 海外引越しのポイント

引越し準備を始める前に、  
どんなことに注意するべきか今一度、確認を。

## 1 海外引越し6つのポイント

いざ準備を始める前に  
注意したい6つのポイント

始める前に、今一度、海外引越しをするにあたって注意すべきポイントを押さえておこう。ここでは日本への海外引越しにおいて、特に気をつけておきたい6つのポイントを挙げておく。

## ① 生活の場をスムーズに移すための引越し計画を。

日本に到着後の生活をスムーズに始めるためにも、引越し全体のスケジュールを早めに立てる。日本への帰国予定日・新居への入居予定日のめどを立て、それを元に船便や航空便での輸送さらに日本に残しておいた荷物の配達の日付・段取りを考えよう。

## ② 荷物とその量の確認を正確に。

日本に送る荷物を選別する際、必ず予算に収まるか、あるいは勤務先の規定に収まるかどうか、前もって確認しておこう。引越し当日になって、見積もりに含まれていない荷物が増えると思わぬ出費につながることもあるので要注意だ。

## ③ 輸入が禁止・規制されている品物や免税範囲に注意

赴任地で所持使用していたものでも、日本では法律により輸入が禁止されている、あるいは規制されている品物がある。十分注意して確認すること。また、お土産品や帰国際に購入したものは引越し荷物といえども、課税対象となる。免税で購入したもののでも日本では免税対象とはならないので注意しよう。

## ④ 荷物の安全を考慮した最適な梱包を。

海外引越しの荷物は、船や飛行機、トラック、鉄道などにより、長い距離を輸送される。そのため、輸送中は振動や衝撃、気候や風土による温湿度の大きな変化、時には盗難の危険にさらされることもある。輸送中の破損などに備え、荷物の安全を考慮した最適な梱包をしよう。

## ⑤ 引越し荷物に保険をかける

海外引越しは、多くの人の手を経て輸送されるので、事故が起きないとも限らない。しかも、輸送業者による損害の補償は、運送約款によって限定されているので、貨物保険をかけることが大切だ。引越し業者などに問い合わせよう。

## ⑥ 帰国時に「携帯品・別送品申告書」を記入・提出する

日本に到着した引越し荷物は税関の検査を経て国内配送される。この時、各種書類が必要となるが、なかでも日本入国時に作成する「携帯品・別送品申告書」はなくてはならない重要な書類。日本帰国時に忘れずに作成しよう。

## 準備 ②

## 下見・打ち合わせ

引越しの流れを改めて確認。  
下見までに大まかな荷物のめどをつけておく。

## 1 下見・打ち合わせ

本帰国が決まったら、  
まずは下見を手配する。

まずは引越し業者を選定し、下見と打ち合わせをする。自宅まで来てもらって、日本に送る荷物の確認、引越し日程の確認をする。本帰国が決まったら、すぐに手配しよう。

## 下見までに大まかな荷物の選別を。

下見では、引越し荷物として送る荷物を確認した上で、船便や航空便の容量を算出し、費用の見積もりをする。この時までに、日本へ送る荷物を決めておこう。加えて船便で送るか、航空便で送るかについても目処を立てておく。左図「お荷物の選別」を参照しよう。また、お土産など、後日購入するなどして荷物が増える予定があれば、どんな品物で、どれぐらいの量になるか、きちんと業者に伝えておき、必ず引越し当日までに揃えておく。

勤務先の規定を再確認  
思わぬ出費につながることも。

会社による費用負担で送ることができきる容積、重量、回数などは企業により様々。規定を超える荷物は、もちろん自費での輸送となる。事前に細かな規定を確認しておこう。見積もりを終えた後で、規定を超えていた場合、まずは勤め先と相談を。

## 2 スケジュールを決める

スケジュールを決めるには、  
輸送日数をきちんと確認する。

輸送日数は、輸送方法によって到着日数が変わる。荷物の振り分けの際に

## 標準的な海外引越サービスの流れ



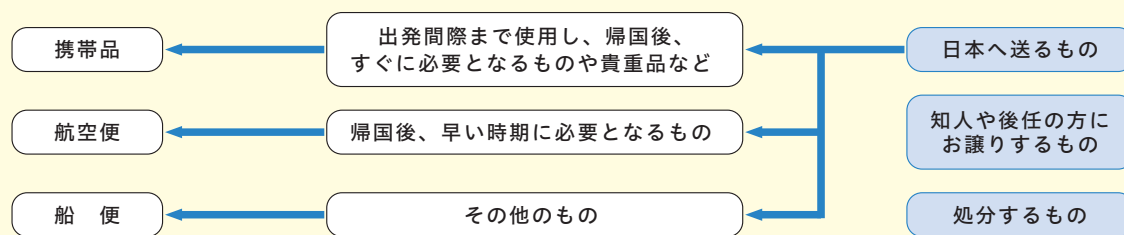
はそれを元に考えよう。また航空機船の航海日数だけでなく、引越し当日から日本での配達までの総日数が、実際の輸送日数となるので注意しよう。

(下図「ご自宅までの輸送日数スケジュール」)  
また、季節、政治情勢、天候、震災、戦争、景気動向などによっても、輸送の日数変化することがある。事

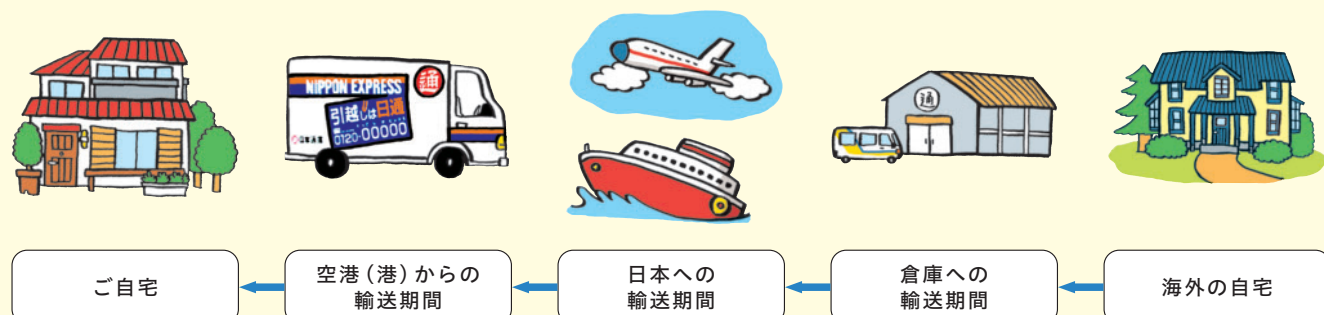
前に依頼した業者に確認しておくこと。  
また、海外からの引越し荷物は、日本輸入時に通関の許可を得る必要があり、書類が不足している場合などには、

日数がかかるので、こちらも業者に確認を。

## お荷物の選別 お荷物の選別にあたっては、次の項目を参考にしてください。



## ご自宅までの輸送日数スケジュール(経路)



## 準備 3

## 荷物の仕分け

時間がかかる仕分けの作業。  
帰国するものに明確に仕分けする。

## 1 荷物の仕分け

日本での生活をイメージして  
持っていくものを厳選する。

日本での生活スタイルや、品物の必要度、引越し予算などに合わせて荷物を選別する。一般的に、日本の住居は海外より小さいので、家具などの大きなものは入らない場合が多い。日本へ持って帰ったものの、使えずに処分するケースもある。

その上で、日本に持っていくものは船便、航空便、手荷物に分け、引越し当日にスムーズに梱包ができるように仕分けをする。例えば、クローゼットの中身を船便で送るものと、航空便で送る物を整理し、ハンガーに付箋を貼るなどして、すぐにわかるようにする。貴重品は基本的には手荷物で持つていくので、引き出しや、棚などいろいろなところに保管してある場合には、一箇所にまとめておき、間違えて引越し荷物として引き渡さないように、別にしてしておく。

処分するものは、早めに計画を。

帰国までに処分できるよう手配を始める。引越しの第一歩は不用品の処分

からとも言われる。知人や後任者に譲ったり、廃棄したりして処分していく。日本での廃棄処分は有料なので、注意する。

新品の購入は早めにすませる。  
レシートコピーを忘れずに。

本帰国のお土産、あるいは自分への記念品など、本帰国が決まってから購入しておきたいものもある。本帰国直前は非常に忙しくなるので、早め早めに購入しておく。また、個人目的の品物でも、新品は日本入国時に課税対象となる。価格を証明するために、レシートコピーを必ず用意しておく。

## 2 梱包の準備

衣類の湿気を取る、  
データバックアップを取る…  
梱包のための準備を進める。

荷物は基本的に引越し当日に業者が梱包してくれる場合がほとんど。ただし、業者に梱包してもらったものも、長期の輸送に備えて準備をしておく。衣類はよく干して湿気をとっておき、パソコン類はデータのバックアップをとっておく。その他、電気製品の電池

を抜いておくなど、細かな点にも注意を。以下の表を参考に、準備を進める。なお、自分自身で梱包したい荷物がある場合は、事前にダンボールをもらい、梱包と梱包明細書の作成を行う。詳細は準備5を参照しよう。

## ■ 必ず携帯品として持っていくもの

次のものは必ず携帯品として持っていくこと。

- ・パスポート、航空券
- ・宝石、貴金属、高価な装身具（腕時計も含む）
- ・貨幣、紙幣
- ・株券、債券、証券、預貯金通帳
- ・ノート型パソコン、携帯できる精密機器
- ・代替が不可能な大切なもの

## 仕分けが最大のポイント

コツコツ進めて、スムーズな引越しを

やはり、引越し準備において荷物の仕分けは重要なポイント。不用品の処分、船便、航空便の仕分け、新品の購入。さらに、日本へ持ち込みができない品物の確認も必要だ。次ページのアドバイス参考に、どんどん作業を進めよう。



## ■ 各種荷物の梱包前準備

## 衣類・寝具



よく干して、湿気をとっておいてください。

## 防虫剤



異なる種類のを一緒にするとシミになることがありますので注意してください。（荷物に入れられない地域があります。）

## 靴



汚れを落とし、湿気を取っておいてください。

## 食器類



引越当日梱包しますので、そのままにしておいてください。

## 液体もの



瓶類はできるだけ避けて、プラスチック容器などにしてください。

## 米、酒、DVD、ビデオテープ



通関の際検査となりますので、それぞれひとまとめにしておいてください。

## 乾電池付きの製品



音が鳴る、光る、振動することにより、爆発物と誤解される恐れがあるので、必ず電池を取り外しておいてください。（懐中電灯、おもちゃなど）

## 冷蔵庫



中身を処分し、引き取りの前日までに電源を切って霜取りをしておいてください。

## 電気製品



ステレオなどのコード類は、目印を付けておくと接続するときに便利です。

## パソコン・デジカメ類



データはすべてバックアップしておいてください。

## 鍵の掛かるもの



鍵の掛かるものは、日本の税関で中を検査される場合がありますので、鍵を掛けしないでください。

## 貴金属・アクセサリ



必ず、手荷物でお持ちください。



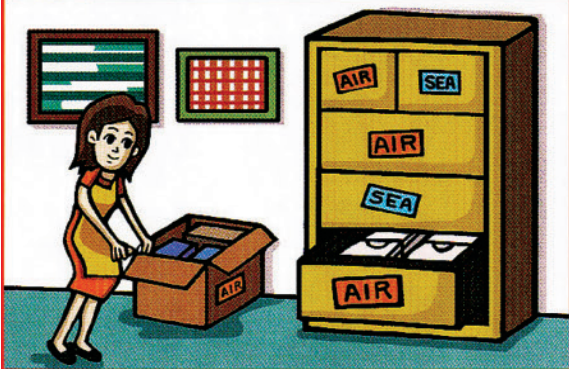
## 工夫を凝らして“わかりやすい仕分け”を！

まだまだ現地生活で必要なものや、帰国後すぐに必要なものは航空便に。大きなもの、すぐには必要ないものは船便に。荷物の仕分けが出来たら、最終的には「SEA（船便）」と「AIR（航空便）」がわかるように整理して、引越し当日にスムーズに引き渡せるよう準備をします。

この時、工夫したいのが「わかりやすい仕分け」。複数の引越しスタッフが来た時に、各スタッフが正しく船便・航空便として梱包・搬出作業ができるよう、パツと見て「SEA」か「AIR」か、わかるようにしておきましょう。手荷物としてまとめておくべきもの、帰国日までに処分が必要なもの、引き渡す荷物を整理することで、どんどんクリアになっていきます。

便利なのは、クローゼットやタンスの引き出しを使ったり、付箋やテープを貼って、わかりやすくしておくこと。ここではそのヒントをご紹介します。

### 仕分け術 03 タンスの仕分け



タンスの引き出しごとに仕分けラベルを貼って分ける。

### 仕分け術 04 家電・家具の仕分け



現地に残す荷物はお友達分、後任者様用などに分けましょう。

### 仕分け術 05 貴重品の仕分け



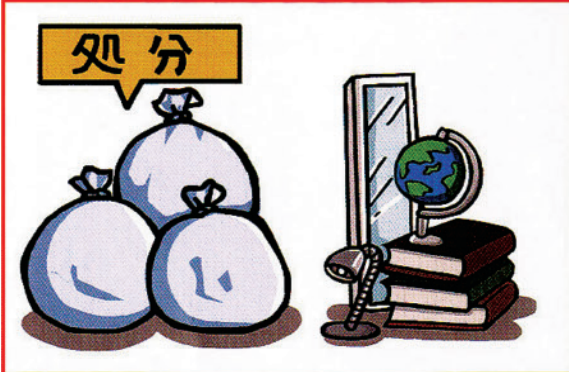
貴重品は手荷物としてまとめる。

### 仕分け術 01 台所の仕分け



台所用品、食器をAIR、SEAで分ける。

### 仕分け術 06 処分品の仕分け



ゴミ廃棄処分は前日までに。思い切ってこの際、処分も！

### 仕分け術 02 クローゼット・押入れの仕分け



クローゼットの中のスーツやコートを分ける。



日通の引越し  
アドバイス 2

よくあるトラブル！  
油断せず！に今一度、  
確認を！

海外引越しは、初めてじゃないから大丈夫！と思っても、思いの外、引越し当日にいろんなトラブルが発生しています。注意すべきポイントを押さえて、引越し当日までに準備を済ませましょう。

その① 行き先が明確な仕分けを！

引越し当日。仕分けもできたので、あとは業者に引き渡すだけ、と思いきや「わかりやすい」仕分けが出来ていないと、なかなか作業が進みません。引越し業者に都度指示をしいては時間がかかってしまいます。

航空便は一つの部屋に集める。大きな荷物は船便・航空便の付箋を付けるなど、複数人のスタッフが来ても、同時に作業ができるよう、仕分けは「わかりやすく」準備しておきましょう。

その② 必要なものは早めに準備

お土産、自分の記念品などなど、いざ本帰国が決まると新たに購入すべきものが出てきます。とは言え、帰国直前は送別会や、学校の手続きなど何かと多忙。計画的に買い物の予定を立てておかないと、当日慌ててしまうことも。

1

行き先が明確な仕分けが引越しの鍵です



point!

仕分けは  
前日までに  
わかりやすく  
済ませましょう!



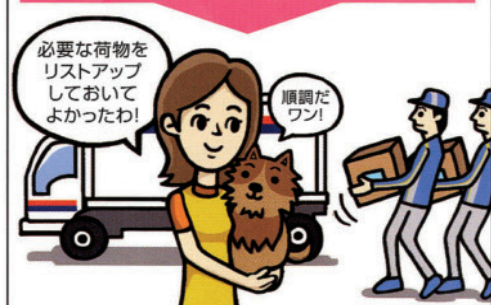
2

必要なものは早めに準備してありますか?



point!

必要なものは  
事前準備を!





いる？ いない？  
すぐ使う？ or 後でもよい？  
海外の引越しには、  
「仕分け」の視点を



無事、引越しが終わり、明日は日本へ帰国...と思っていたら、パスポートが見当たらない！なんてことは避けたいものです。パスポートや航空券、その他手荷物として持っていくべき貴重品を、誤って引越し業者に引き渡してしまわないよう、注意が必要です。手荷物として別の場所にひとまとめにして保管しておくとうまいでしょう。

その④ パスポート、貴重品は手荷物に。

下見の前に住居の隅々まで荷物がなければ確認をしておきましょう。引越し当日に荷物を追加すると、その分、料金も追加され、思わぬ出費となります。

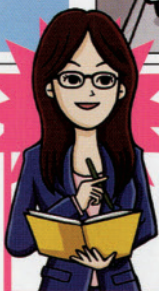
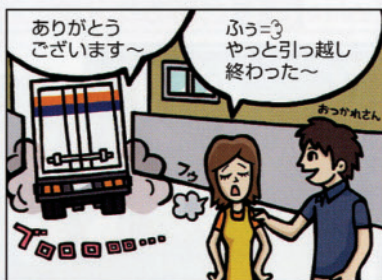
荷物をすべて引き渡したと思ったら、思わぬところから荷物が出てきた、なんてことも。特に、普段は使っていないお部屋があるなら要注意。着任当初に案内、荷物を置いてあるかもしれない。

その③ 荷物の見落としに注意。

必ず、新たに購入すべきものは何か、リストアップした上で、計画的に準備しておきましょう。

4

パスポートは梱包していませんか？



point!

「貴重品」は  
手荷物として  
ひとまとめに!



3

部屋の隅々まで、品物のチェックをしましたか？



point!

普段使っていない  
部屋を見落とさないように!





## 準備 4

## 輸入禁止品・規制品・免税範囲

日本への持ち込みが禁止されている品物や、重量や検査によって持ち込みが制限されている品物がある。免税範囲も含め、事前必ず確認してトラブルを避けること。

## 1 輸入が禁止されている品物

輸入が禁止されている品物は細心の注意を。

日本への持ち込みが禁止されている品物について必ず確認を（表1-1）。これに反すると関税法などで処罰されたり、税関当局から没収廃棄または積戻しを命令されることがある。

また、日本到着時の税関審査において輸入禁止品が発見され、引越し会社側に予定外の手続き・作業が発生した場合には、作業にかかった諸費用はもちろん自己負担となる。

誤って輸入禁止品が荷物に混入していないかどうか、改めて確認するために、引越し業者が下図のような「輸入者確認票」を用意しているの、自分自身で記入し、再確認しよう。

## 2 輸入が規制されている品物

毛皮や、ハンドバックなど。

ワシントン条約により規制されるもの

「絶滅のおそれのある野生動植物の

種の国際取引に関する条約」(ワシントン条約)に基づき、動植物の多くのものが輸出入の規制の対象となっているため、この条約で定めた機関の発行する書類など(種類により異なるが、輸出許可証経済産業省の発行した輸入承認証など)がないと輸入できない。これらは生きている動植物だけではなく、漢方薬などの加工品製品についても規制の対象となる(表1-2①)。

お土産にしたい加工肉などに注意。植物防疫法家畜伝染病予防法により規制を受けるもの

外国から植物、動物を持ち込む場合は検疫を受け、これに合格することが必要。また、海外の免税店で購入した場合でも、輸入禁止品に該当するものは持ち込むことができない。加えて、植物類は輸入禁止品に該当しなくても、病害虫の付着のないことを確認する検査が必要。病害虫が発見されると「消毒」または「焼却処分」となるので注意しよう(表1-2②)。

銃砲刀剣類所持等取締法により規制を受けるもの

猟銃空気銃刃渡り5.5cm以上の刀剣などは、都道府県公安委員会等の所持許

可を得なければ輸入できない。なお、一部の銃砲刀剣類は輸入貿易管理令の規制も受ける。調理器具は刀剣類に該当しないため、輸入は認められている。

医薬品医療機器等法(旧薬事法)により規制を受けるもの

海外から日本へ個人使用のために医薬品または、医薬部外品化粧品などを輸入する場合、厚生労働省等の許可なく輸入できる数量は定められている。

- ① 使い捨てコンタクトレンズ…2か月分以内(装用期間に準ずる枚数のみ)
- ② 処方箋薬…1ヶ月分以内(処方箋薬であつても向精神薬は持ち込めない)
- ③ 外用剤(軟膏、点眼薬等)…1品目24個以内
- ④ その他の医薬品、医薬部外品(育毛剤含)…2ヶ月分以内
- ⑤ 化粧品類(石鹸、浴用剤等)…24個以内(品目毎に)

⑥ 家庭用医療機器(電気マッサージ器等)…1セット以内

⑦ 電子タバコキット…成人1人当たり1セット

⑧ 医療機器(CPR、睡眠時無呼吸症候群治療器具、聴診器等)動物用医薬品(ペット用品)：1つでも規制を受けるため、別途手続きを行った上で輸入の可否が判断される。

海外で健康食品として販売されているものでも、日本では医薬品に該当する成分が含まれていることがある。医薬品成分が検出された製品は、輸入の制限を受けるので注意。

## ■ 輸入者確認票

日本通運 **ルートライナー** 日本郵政グループ

お客様各位

『ここに、貴店の正式名称を記載ねがいます』

輸入者確認票及び貴重品管理に関するお願い

1. 下記の点についてお客様によるご確認をお願いいたします

A. 本日お預かりするお荷物の中身を全て把握されていますか? ☐ はい ☐ いいえ

B. この荷物は、全てお客様ご自身のお荷物ですか? ☐ はい ☐ いいえ

C. 販売または転売目的のものはこの荷物の中にありますか? ☐ はい ☐ いいえ

D. このお荷物の中に日本で輸入が禁止されている物が入っていませんか? ☐ はい ☐ いいえ

① 麻薬、向精神薬、大麻、あへん、覚せい剤、MDMA など  
 ② 拳銃等の銃砲、これらの銃砲弾や拳銃部品など  
 ③ ダイナマイトなどの爆発物や火薬、化学兵器などの原材料  
 ④ 紙幣、貨幣、有価証券、クレジットカードなどの偽造品  
 ⑤ 偽ブランド品、海賊版などの知的財産侵害物品  
 ⑥ わいせつ画像、児童ポルノなど  
 (既成の印刷物やビデオテープ、DVD だけでなく、インターネットからダウンロードした画像や動画が記録された DVD 等のメディア、パソコンのハードディスクも対象です。)

上記品物は、日本の法律で輸入が禁止されています。税関でこれら輸入禁止品が発見された場合、通関手続きが遅れるだけでなく、法令により処罰される可能性がありますのでお荷物には絶対に入れない様お願いいたします。もし輸入禁止品が発見された場合、当社の作業料金(最低約3万円)を別途申し受けます。

E. このお荷物の中に次の日本への持込制限品が入っていませんか? ☐ はい ☐ いいえ

① 猟銃、空気銃及び日本刀などの刀剣類  
 (猟銃、改造空気銃、刃渡り5.5cm以上の剣は、銃刀法により原則所持禁止)  
 ② ワシントン条約により輸入が制限されている動植物及びその製品  
 (ワニ、ヘビ、リクガメ、象牙、ジャコウ、サボテンなど)  
 ③ 事前に検疫が必要な生きた動植物、肉製品(ソーセージ、ジャーキー類を含む)、野菜、果物、米など  
 ④ 医薬品医療機器等法、薬機法により規制を受ける量の医薬品、医薬部外品、使い捨てコンタクトレンズ(一人当たり2か月分)、化粧品類(一人当たり品目毎に24個超)など

※上記内容につきましては、税関の指導に基づき当社が確認させていただいております。

上記 1, 2, 3 項の記載内容に相違ありません。

日付： 年 月 日 ご署名

## 表1 輸入禁止品・輸入規制品のチェックリスト

### 1. 輸入が禁止されている品物

あへん、コカイン、ヘロイン、MDMA、マジックマッシュルームなどの麻薬、大麻、あへん吸煙具、覚せい剤、向精神薬など
けん銃等の鉄砲及びこれらの銃砲弾や、けん銃の部品
ダイナマイトなどの爆発物、火薬、爆薬など
生物テロに利用されるおそれのある病原体等
化学兵器の原材料となる物質
通貨又は証券の偽造品、変造品、模造品（例えば、偽造金貨など）や、偽造クレジットカードなど
公安又は風俗を害すべき書籍、図面、彫刻物その他の物品（わいせつ雑誌、わいせつビデオテープ、わいせつDVDなど）
児童ポルノ
スプレー（引火性ガスあるいは毒性ガスを使用しているもの）、マッチ、シンナーなど
偽ブランド商品など知的財産権（商標権、著作権、著作隣接権、特許権、実用新案権、意匠権、回路配置利用権及び育成者権）を侵害する物品及び不正競争防止法に違反する物品
家畜伝染病予防法などの法律で定める特定の動物特定外来生物を含むとその動物を原料とする製品など（※）
植物防疫法で定める植物とその包装物など
外来生物法で禁止されているもの

※詳細は最寄りの動物検疫所、検疫所にお問い合わせください。 ※特定外来生物に関する詳細については、環境省自然環境局野生生物課（電話03-3581-3351代表）へお問い合わせください。

### 2. 輸入が規制されている品物

#### ① ワシントン条約により規制を受けるもの

加工品・製品	毛皮・敷物	トラ、ヒョウ、クマ等
	ベルト・財布・ハンドバッグ等	ワニ、ウミガメ、ヘビ（一部）、トカゲ（一部）、ダチョウ（一部）等
	象牙・同製品	インドゾウ及びアフリカゾウ
	はく製	ワシ、タカ、ワニ、センザンコウ等
	その他	ジャコウジカ、トラ・クマ等の成分を含む漢方薬、ヘビ皮革を利用した楽器（胡弓）、シャコガイの製品、オウムの羽飾り、クジャクの羽（一部）、サンゴの製品（一部）、チョウザメの卵（キャビア）等
生きている動物	サル（全種）	スローロリス、カニクイザル、チンパンジー等
	オウム（全種）	オウム、インコ類（セキセイインコ及びオカメインコを除く）
	植物	ラン全種、サボテン全種等
	その他	ワシ、タカ、リクガメ、ヘビ（一部）、アロワナ（一部）等

#### ② 植物防疫法・家畜伝染病予防法により規制を受けるもの

主な動物検疫対象品	ハム、ビーフジャーキーなどを含む肉製品 水牛鹿などの角を納品で加工が不完全なものなど
主な植物検疫対象品	米（米粉を含む）、植物の種子・球根・松かさ・殻などのついた装飾品
	ドライフラワー、ボプリ、くるみ、麦わら、畳マットなど

※海外から日本へお米を輸入する場合には食糧法関税法などの規定に基づき所定の米穀等輸入納付金及び関税を政府に納めることが義務付けられていますが個人用（輸入される方自身が使用するもの）としてお米を輸入する場合には個人用品の一般的な免税規定の他に過去1年間の件数量が100kg以下であることについて届出をしてその確認を受けることが米国と輸入納付金と関税の免除要件となります。携帯品で海外から日本へお米を輸入する場合には、到着空港内の植物検疫カウンターで輸入数量の届出をしてください。 ※植物検疫制度により、帰国時に米や豆、種子など植物でできたもの、プリザーブドフラワー等は、輸出国が発行する検査証明書が必要となります。検査証明書が取得できない場合は、廃棄処分となり、検査および廃棄費用が発生いたします。

## 日通の引越し アドバイス 3 自動車の輸送

自動車を輸入する場合には次の様な手続きや、書類の準備が必要となり、通常の引越し荷物の取り扱いとは大きく異なります。

### 免税として輸入できる場合の条件

①継続して1年以上外国に居住していたこと、かつパスポートなどでその期間が確認できること。②ご本人名義で既に使用されていたものであることが登録証等で確認できること。③「携帯品・別送品申告書」に車の台数を明記し、入国時に申告して税関の印を受け、入国後6ヶ月以内に輸入すること。④輸入許可日から2年間は、その自動車を本人又は家族が個人的に使用するもので、維持可能と認められること。（他の用途に使用した場合には、免税を受けた消費税を支払わなければなりません）

### 通関に必要な書類など

①自動車の申告がされている携帯品・別送品申告書②パスポート全ページコピー※海外で更新している場合には古いパスポートの全ページコピーも必要※場合によってはパスポートのオリジナルが必要③自動車等の引越荷物免税申請書（税関様式第1280号）④外国における車検証または登録証⑤外国における車の保険証書

⑥領収書など購入価格を証明できるもの※場合によっては日本語訳が必要⑦自動車のマニュアル⑧鍵⑨日本に帰国してから登録した住民票2通⑩2年以内に転売・譲渡しない旨を記載した誓約書※免税として輸入できない場合には、購入価格＋船運賃＋貨物保険料に対して消費税がかかります。

### 輸入時の注意

車両内には、標準工具、スペアタイヤ以外のものは一切入れないでください。それ以外のものは、別に通関しなければならず、日数・費用が余分にかかることになります。また、消火器、エアゾール缶、高圧ガス類は輸入できません。

### 日通で便利。通関後の手続きまでサポート。

日通では輸入通関までを行います。輸入許可後、お車を日本仕様に改造する業者を紹介します。日本の排ガス規制及び道路交通法の保安基準に適合させる改造を行い、陸運局で検査を受け登録することになります。



### 3 引越し輸送の過程において制限があるもの

自動車や船舶など、

引越し荷物として通関できないもの

通関の際に、税関が引越し荷物として適当と認めないものは、引越し荷物の一部であっても、一般の商業貨物と同様の通関手続きをする必要があり、通関手数料他実費は自費となる。

例

- ・自動車
- ・自動2輪車  
原動機付自転車、電気キックボード、電動スクーター含む
- ・航空機
- ・船舶（ボート・カヤックなど）
- ・日本で第三者に売却する荷物など

リチウムイオン電池に注意。

航空便として取扱いを注意する荷物

リチウムイオン電池を含んだ荷物（パソコン、デジカメ、電子辞書、スマートラゲッジなど）の航空便での発送は、電池の容量、梱包方法の指定など、様々な規制があるので業者に確認を。手荷物または船便での発送を推奨する場合もある。

航空会社によっては、リチウムイオン電池以外の荷物も規制をかけている場合がある。また、品目にかかわらず、到着地の税関が個人・家族使用の範囲を超える数量・金額と判断した場合は課税されたり、お荷物の輸入を制限さ

れることがあるので、合わせて注意すること。

その他、税関検査を

問題なく通過するために。

趣味での収集品や嗜好品などを大量に送る場合は、事前に業者に相談を。また、荷物の税関検査の際に輸入規制品・制限品が発見され、これにより予定外の作業が発生した場合は、諸作業にかかった費用は、自己負担となる。



### 4 免税範囲

引越し荷物は「別送品」。

「別送品申告書」を提出すれば、

免税枠が適用される。

日本への引越し荷物は、別送品として日本へ輸入される。

この別送品は、入国（帰国）後6ヶ月以内に輸入され、かつ、その輸入申告の際、入国（帰国）時に税関の確認印を受けた「携帯品・別送品申告書」を輸入地税関に提出した場合に限り、入国時に使用した免税枠の残りの範囲内で免税の適用を受けて輸入することができる（「別送品申告」の手続きは「準備6」を参照）。

免税範囲の詳細は表2を確認しよう。なお、以下の点についても合わせて注意が必要。

①個人的に使用すると認められるもの  
個人的に使用すると認められるものに限り、かつ成人一人あたりに定められた免税範囲内において免税となる。

なお、米については年間100kgの範囲内で免税となり、携帯品と別送品の両方がある場合には、その合算で適用される。

②未成年者の制限

未成年者の場合、酒類とタバコは免税にならない。

また、6歳未満の子どもは、おもちゃなど明らかに子ども本人の使用と認められるもの以外は免税にならない。

③身回品などは原則免税

海外赴任中に使用していた衣類などの見回品や、職業上必要とする携帯用具など（外国で取得したものを除く）は、免税範囲にかかわらず、原則として免税となる。

④海外市価による免税（一部）

酒類、たばこ、香水を除くその他の品物については、1品目ごとの海外市価の合計額が1万円以下のものは、原則として免税となる。

免税範囲を超える品物は課税の対象。

免税範囲を超える品物は、引越し荷物であっても、もちろん課税対象となる。税関で手続きの上、支払うことになる。この時、税額は課税価格を基準に計算される。課税価格とは、一般の輸入取引における輸入港での価格を指す。通常、携帯品や別送品については、海外での小売価格の6割程度の額を課税価格としている。よって、海外市価の6割が課税価格となる。

税率は大きく分けて3つ。

課税される場合、その税率は大きく分けて3つ。

①簡易な税率（関税、内国消費税及び地方消費税が含まれる）

②一般的な関税率

③消費税及び地方消費税のみ課税（関税無税品）

それぞれに該当する品物については表2・2を参照。

なお、持ち込む品物のうち、何を免税とし、何に課税するかは、旅行者の有利になるように選択し、課税される。課税額は日本入国時に税関で決定され、その後支払うことになるので、課税対象となる荷物がある場合は、事前に税率を確認し、予算として把握しておく心安だ。

例えば、25万円のハンドバッグを持ち込む場合、海外市価25万円の6割（この場合15万円）が課税価格。税率は一般の税率（15%）が適用されるので、課税価格15万円の15%である、22,500円が関税額となる。

※参考ウェブサイト 税関「海外旅行の手続きー税額の計算方法」  
<http://www.customs.go.jp/kaigaiyoko/zeigaku.htm>

表2 免税範囲

1. 免税の範囲（成人一人当たり／携帯品・別送品を合わせた数量）

品名		数量又は価格	備考
酒類		3本	1本760mlのもの。
たばこ	「紙巻たばこ」のみの場合	400本	（注1）免税数量は、それぞれの種類のたばこのみを購入した場合の数量であり、複数の種類のたばこを購入した場合の免税数量ではありません。 （注2）「加熱式たばこ」の免税数量は、紙巻たばこ400本に相当する数量となります。 【加熱式たばこの免税数量の例】・「アイコス」（IQOS）の場合：400本 ・「グロー」（glo）の場合：400本 ・「ブルーム・テック」（Ploom TECH）の場合：100個
	「加熱式たばこ」のみの場合	個装等20個 ※1箱あたりの数量は、紙巻きたばこ20本に相当する量	
	「葉巻たばこ」のみの場合	100本	
	その他の場合	500g	
香水		2オンス	1オンスは約28ml（オードコロン、オードトワレは含まれません。）
その他の品目	その他の場合	20万円 （海外市価の合計額）	1.合計額が20万円を超える場合には、20万円以内におさまる品物が免税になり、その残りの品物に課税されます。税関は、旅行者の皆さんに有利になるように、免税となる品目を選択の上、課税します。 2.1個で20万円を超える品物、例えば、25万円のバッグは25万円の全額について課税されます。 3.1品目ごとの海外市価の合計額が1万円以下のものは、原則として免税となります。（例えば、1コ1,000円のチョコレート9コや1本5,000円のネクタイ2本は免税になります。）

注：「海外市価」とは、外国における通常の小売購入価格のことをいいます。なお、円貨換算は定められた公示レートにより行われます。

2. 免税範囲を超える品物の税率

① 簡易な税率が適用されるもの

品名	税率
1. 酒類	(1) ウイスキー、ブランデー
	(2) ラム、ジン、ウォッカ
	(3) リキュール
	(4) 焼酎
	(5) その他（ワイン、ビールなど）
2. 紙巻たばこ	13円/1本 <sup>(注1)</sup>
3. その他の物品（関税が免税のものを除く <sup>(注2)</sup> ）	15%

注1：たばこ特別税0.5円／本を含む。

注2：関税が免税のその他の品物については、その種別に応じ軽減税率8％と標準税率10％のいずれかの消費税率が適用される。

② 一般の関税率が適用されるもの

1個（1組）の課税価格が10万円を超えるもの
米（別途納付金が必要）
食用の海苔、パイナップル製品、こんにゃく芋、紙巻きたばこ以外のたばこ、猟銃

③ 消費税及び地方消費税のみ課税されるもの（関税無税品）

腕時計、貴金属製の万年筆、貴石（裸石）、ゴルフクラブ、書画、彫刻、パソコンなど
関税がかからない品物は、課税価格に対して消費税及び地方消費税（合計で10％）のみが課税されます。

日通の引越し アドバイス 4 ペットの輸送

ペットの輸送には、細かな条件が定められています。準備が長期にわたる場合もあるため、早め早めに確認しましょう。

犬、猫の輸入

1. 輸入の事前届出の対象と時期

動物を輸入しようとする方は輸送の方法（貨物・携帯品）に関わらず到着40日前までに到着予定空港（港）を管轄する動物検疫所に、輸入予定などを届け出なければなりません。

2. マイクロチップによる個体識別

日本到着時に装着されているマイクロチップの識別番号と輸出国政府機関の発行する証明書に記載されている識別番号と照合します。

3. 指定地域から輸入される犬猫に必要な証明事項

指定地域から直接輸入され、輸出国政府機関の発行する証明書により次のことが確認できる場合、到着時の係留時間は12時間以内。

- ① マイクロチップによる個体識別がなされていること
- ② 指定地域において過去180日間若しくは出生以降飼育されていたこと、または、日本から輸出後、指定地域のみにおいて飼育されていたこと
- ③ 当該指定地域に過去2年間狂犬病の発生がなかったこと
- ④ 出発前の検査で狂犬病（犬の場合はレプトスピラ症についても必要）にかかっていないか、またはかかっている疑いがないこと。

4. 指定地域以外から輸入される犬猫に必要な証明事項

指定地域以外から輸入され、輸出国政府機関発行の証明書により次のことが確認できる場合、輸入時の係留期間は12時間以内。

- ① マイクロチップを装着後、2回以上狂犬病不活性ワクチンまたは組換え型ワクチンが接種（接種間隔は接種後30日以上かつ1回目の有効免疫期間以内）されていること。

- ② 2回目のワクチン接種後、日本が指定する検査機関による狂犬病抗体検査の抗体価は0.5IU/ml以上であること。
- ③ 日本到着日は②の検査のための採血日から180日を経過し2年を超えていないこと。
- ④ 採血日以降、日本到着までに狂犬病予防注射の有効免疫期間を超えてしまう場合は、有効免疫期間以内にワクチンの追加接種がなされていること。
- ⑤ 出発前の検査で、狂犬病（犬の場合はレプトスピラ症についても必要）にかかっていないか、またはかかっている疑いがないこと。

注1：狂犬病予防注射は、生後91日以上で摂取すること。

注2：③について、採血日からの経過期間が180日間に満たない場合、不足する日数が輸入時の係留期間となります。その他の項目が確認できない犬、猫の係留期間は180日間となります。

5. 係留検査の実施

係留検査は動物検疫所の施設で行われます。万が一、長期の係留期間が必要となった場合でも、自宅での係留検査は認められません。

詳しくは動物検疫所ホームページをご覧ください。か以下の動物検疫所にお問い合わせください。  
農林水産省動物検疫所 横浜本所・中部空港支所・神戸支所・沖縄支所・成田支所・関西空港支所・門司支所  
<https://www.maff.go.jp/aqs/animal/index.html>

※その他のペットについては動物検疫所ホームページをご確認ください。



## 準備⑤

## 引越し当日と梱包

引越し当日は何かとあわただしい。  
きちんと荷物の仕分けを済ませて、ミスのないように。

## 1 当日までの準備

関係各所に連絡を。

管理人がいるマンションなどの場合は、引越し日、エレベーターの使用許可、駐車場の確保、オートロックの解除について伝えておく。

荷物の仕分けは確実に。

荷物の仕分けを済ませておく（準備2を改めて確認しよう）。また大切なもの、高価なものは十分な梱包が必要なので、事前に目印をつけて業者がわかるようにしておく。

購入予定の品物は当日までに揃えておく。この時、新品は課税対象となるので、価格を証明するレシートのコピーを用意しておく。

## 2 自分で梱包する場合

長い輸送に耐えられるようにクッションなどをきちんと用意する。

自分自身で梱包する場合、は以下のことにご注意しよう。なお、食器やガラス器具、その他壊れやすいものは業者

に梱包をお願いしよう。

① 重い物は小さなダンボールに、軽い物は大きなダンボールに詰める。

② ダンボールの底と上には、クッションになるものを詰める。

③ 壊れやすいものは必ず一個ずつ柔らかい紙やエアーズキャップなどで十分に包む。

④ お皿など平たいものは縦に詰める。

⑤ ダンボールの中には隙間を作らないようにする。

## ダンボールの種類

ダンボールの主なサイズは左記（国によりサイズは異なる場合がある）。荷物配分の参考にしよう。また、トラंकや衣装ケース、電気製品の専用ダンボールがある場合は、そちらも使う。

① Sサイズ…小さくて重いものに。

船便／約2cft

航空便／約9kg（容積重量）

例／書籍、アルバム、レコード、食器類、装飾品、その他。

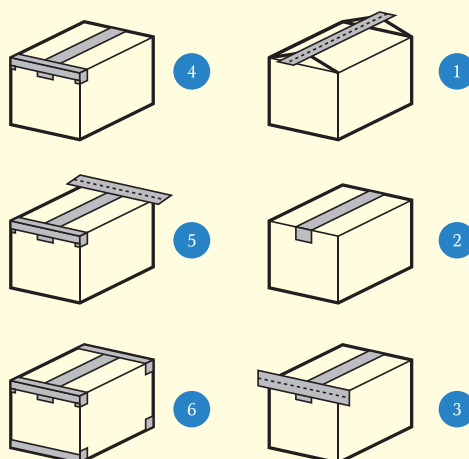
② Mサイズ…日用雑貨、衣類など

船便／約4cft

航空便／約18kg（容積重量）

例／食器類、セーター、シャツなど

## ■ ダンボールの作り方



## 例：梱包明細書と記入例

- ※船便と航空便はそれぞれ別々に作成してください。  
※アルバムや記念品などのいわゆる心情的主観的な保険金額は損害賠償の対象にはならない。  
※書式は引越し業者により、多少異なる。
- ① 内装梱包番号：荷物の番号を1から順番に記入
  - ② 品名・数量・申告価格：税関に提出します。
    - 品名はできる限り詳しく記入
    - 1カートンの中に数種類のものがある場合、品目の種類ごとに行を改めて記入
    - 同じカートンの中に特に高価な品物がある場合、行を改めて記入
    - 酒、たばこなどは免税範囲を超えた場合は課税されるので、種類、容量、本数を正確に記入
    - お土産は民芸品、置き物など詳細に記入
  - ③ 合計：各ページごとに記入
  - ④ 総合計：最終ページのみ記入
  - ⑤ 署名：各ページごとにサインする。

## ■ 梱包明細書

日通海外引越  
ハートライナー

sheet No: 1

## 梱包明細書

内装梱包番号	内容品目	数量	申告価格 U S \$	備考
1	家電	1	200	
	お土産	5	250	
	「家電」は、具体的な品名を記入して下さい。「お土産」は、具体的な品名とレシートの有無を記入して下さい。			
1	炊飯器	1	200	
	お土産（チョコレート）	2	100	新品レシートあり
	お土産（ネクタイ）	3	150	新品レシートあり
2	調味料	8	50	
	「調味料」は、具体的な品名及び新品かどうかを記入して下さい。調味料の中に香辛料（コショウ、唐辛子）等が含まれている場合、市販の小売用の包装になっていないものや開封済の場合、検査対象となり、発地国の検査証明書や日本側での検査検査が発生し、別途費用が発生する場合があります。			
2	塩（3）、ソース（2）	5	25	
	香辛料	3	25	
3	常備薬	10	50	
	コンタクトレンズ	4	100	
	CPAP	1	200	
	「常備薬」ではなく、具体的な薬の種類・数量を明記し、規制数量内であることを確認して下さい。「コンタクトレンズ」は、規制数量内であることを確認するためにタイプ・数量を記載して下さい。CPAPはお客様ご自身で必要書類を準備し、特別な手続き（薬監申請）を行わなければ輸入できず、			
3	処方箋薬（3）、目薬（2）、胃薬（5）	10	50	
	使い捨てコンタクトレンズ（1DAY120枚）	4	100	60日分
	CPAP	1	200	
4	お酒	3	150	
	タバコ	2	40	
	「免税枠がある、お酒、タバコ、香水は、免税数量を超えると課税になりますので、具体的な種類、本数、容量を正確に記入して下さい。確認願の提出が必要な数量のお酒は、原産地を記入して下さい。			
4	ワイン 750ml	2	100	新品フランス産
	ウイスキー 700ml	1	50	新品英国産
①	紙巻たばこ20本×10本 2カートン	2	40	新品
		合計 U S \$	③	申告価格 1040
		総合計 U S \$	④	申告価格

荷送人署名 ⑤ Taro Nittsu

## 日通の引越し アドバイス 5

## 引越し荷物には「貨物保険」を。

海外引越しは多くの人の手を経て輸送されますので事故が起きないとも限りません。しかも輸送業者による損害の補償は運送約款によって限定されていますので、十分な金額で貨物保険をかけることをお勧めします。

## ハートライナー保険

ハートライナー保険は損害保険代理店でもある日通が、そのノウハウを元に損保ジャパン株式会社に開発を依頼した、海外引越し荷物かつ日通代理店専用の外航貨物海上保険です。引越しのお申し込みと同時に保険手配の申し込みができますので、手続きが簡単です。ハートライナー保険以外の場合には おかけになる保険会社またはお勤め先の保険担当者に相談してください。

## お申し込み時の注意点

ハートライナー保険お申し込みの際は次の点に注意して下さい。梱包明細書若しくはハートライナー保険・保険付き保リストに記載された申告価格が保険金お支払いの限度額となります。

## お支払いする主な損害

- ・輸送中に家具が壊れてしまった：家具の修理代をお支払いします。
- ・衣類が汚れてしまった：クリーニング費用をお支払いします。
- ・6客あるコーヒークップのうち2客が壊れてしまった：壊れた2客分についてお支払いします。6客分全額はお支払いできません。
- ・大切なアルバムがなくなってしまった：原則として保険付保リスト、または梱包明細書記載の金額を限度に、客観的判断によるアルバムの価格をお支払いします。
- ・引越先で一週間後に火災が発生し、荷物が全焼してしまった：原則として総額付保リスト等の保険書類に記載の金額を限度として、全焼した荷物の再調達費用をお支払いします。

## お支払いできない主な損害

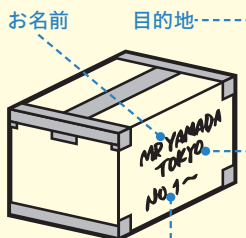
- ・金物や革製品などに自然に発生した錆やカビなど荷物の固有の欠損若しくは性質に起因して生じた損害
- ・オーディオパソコン（データを含む）などの電化製品に生じた原因不明の作動不良・故障による損害又は調整費用
- ・自動車のまがり、へこみ、擦り傷。ただし、輸送中に生じた損害はお支払いします。
- ・美術品や骨董品などの貴重品が損害を被ったための格落ち
- ・楽器類の音質・音色の変化、弦の緩みなど自然に生じる不調
- ・サイバー攻撃によって生じた損害・（被保険者が事業者の場合にかぎり適用 ※事業者には個人事業主も含む）

## 破損などがあった場合の連絡

お荷物の配達が届きましたら全てのお荷物を開けて異常がないかどうか確かめてください。お荷物に損害があった場合には営業担当者に速やかにご連絡願います。

## 梱包明細書の作成とダンボールの表示を記入する。

自分で梱包した場合も梱包明細書を作る必要がある。「例：梱包明細書と記入例」を参考に作成しよう。梱包明細書がない場合は、荷物の内容をメモ書きしておき、引越し当日に梱包明細書に書き写す。



1番からの荷物の通し番号

壊れものが入っているカートンは、引越当日、作業員が確認しますので、開けておいてください。

③Lサイズ：長めの衣類に  
船便／約4cft  
航空便／約18kg（容積重量）  
例／和服、背広、コート、ワンピース

次のような表示を書き込む。特に、割れ物が入っているダンボールにはFRAGILEと書くこと。

## 3 引越し当日

## 荷物の仕分けを済ませて業者と確認を。

引越し当日までに、必ず自宅のすべての家財の行き先を決めておく。業者が到着したら、改めて引き渡す荷物を一緒に確認する。特に大切なものや高価なものなどはあらかじめ指示しておく。

仕分けがきちんと済まされていないと、当日に運び出しはしない荷物と、十分に注意しよう。特に次の荷物は必ず手荷物として携帯する。間違っても引越し荷物として預けてしまわないよう、改めて確認を。

- ・パスポート、航空券
  - ・宝石、貴金属、高価な装身具（腕時計も含む）
  - ・貨幣、紙幣
  - ・株券、債券、証券、預貯金通帳
  - ・ノート型パソコン、携帯できる精密機器
  - ・代替が不可能な大切なもの
- 梱包が始まったら、  
梱包明細書を作成する。
- 引越し業者が順次、梱包していく。この時、一緒に荷物を確認しながら自分自身で梱包明細書を作成する。荷物の通関や保険請求の際に必要な書類と

なるので、丁寧に作成しよう。詳細は、右図を参考に。また、新たに購入した品物のレシートのコピーは、忘れずに業者に渡しておく。

順次トラックへ積み込み終了  
控えは大切に保管を。

梱包された荷物から順次、番号を確認の上、トラックに積み込まれていくすべての荷物の梱包が終了したら、引き取り忘れの品物がないかを業者と一緒に確認しよう。

最後に梱包明細書の控えと発送指示書の控えを受け取る。日本での荷物の引き取り時に必要となるので大切に保管しよう。



## 準備 6

## 帰国時の別送品申告と荷物の配達

日本で無事に荷物を受け取るために、帰国後も気を抜かないように。  
帰国空港での別送品申告、輸入通関、そして荷物の配達までしっかり予定しておく。

1 日本帰国時の  
空港での手続き

入国審査の後、税関の荷物検査で  
別送品申告書を提出する。

日本に到着したら、到着空港で別送品申告の手続きを行うのを忘れずに。  
船便や航空便などで輸送された引越し荷物は、日本に到着したのち、輸入が禁止・規制される品物や、免税範囲を超える品物の有無について税関の審査を受ける。この時、正確でスムーズな通関をするために、別送品申告の手続きをする必要がある。

## 別送品申告の手続き方法

別送品申告は以下の手順で行う。

## ①機内で申告書を記入する

飛行機が日本に到着する前に「携帯品・別送品申告書」が配布される。この時、2枚受け取り、同じ内容を記入しておく。記入方法は右図の「記入例」と作成上の注意」を参照に。なお、機内で入手できなかった場合は、到着空港の税関検査上で入手して作成する。

## ②入国審査を受ける※有人窓口へ

到着後、入国審査を受ける。この時、自動化ゲートではなくて、有人窓口を利用しよう。のちに引越し荷物が輸入通関審査を受ける際に、パスポートに押印された入国管理局の帰国印のコピーを提出する。しかし、自動化ゲートの場合、旅券上に帰国印が押印されないのので、従来の有人窓口を利用すること。

## ③税関に申告書を提出する

入国審査の後、荷物を受け取り、税関の荷物検査へ進む。この時に「携帯品・別送品申告書」2枚を税関員に提出する。税関員が確認した上で、1枚は税関が保有し、1枚は返却される。税関のスタンプが押されていることを確かめた上で受け取る。

もし、到着出口を出てしまった後に申告書にスタンプがないことに気がついた場合には、空港職員に相談すること。



## ④空港の引越し業者受付カウンターへ

通常、引越し荷物の輸入通関手続きは引越し業者が代行してくれる。税関で受け取った「携帯品・別送品申告書」は通関代行の際に必要な書類となるので、速やかに引越し業者へ手渡す必要がある。業者によっては、空港内到着ロビーに申告書受付専用カウンターを設けているので、すぐに預けておくと安心だ（日通の引越しアドバイス7を参照）。この時、パスポートなどの通関に必要な書類も一緒に預けること。

## 2 輸入通関

引越し荷物が日本到着  
通関手続きを受ける。

引越し荷物が日本に到着すると、税関による荷物検査が行われた上で、輸入が許可される（輸入通関）。通関手続きは引越し業者が代行して行うので、日本に到着したら速やかに通関に必要な書類を、引越し業者に郵送するなどして渡しておこう。必要となる主な書類は以下。

- 携帯品別送品申告書
- パスポートコピー（顔写真、出国印、帰国印、VISAの各ページ）

## ● 梱包明細書

● その他（必要に応じて）スリッパース等の鍵、購入品のレシートコピー（新品を持ち帰った場合）

## ● その他特別な書類

## ● 通関委任状、配達依頼書

ただし、申告を行う税関により、必要書類が異なる場合がある。また、航空便と船便は同時には通関できない。詳細は依頼している業者に確認しよう。  
また帰国時に、携帯品・別送品申告書の作成を忘れ、税関に提出できなかった場合は、特別な手続きが必要となる上、お土産や新品、タバコなどの免税の適用はなくなるので要注意だ。

## 書類の不備や免税範囲を超える品物がある場合は都度確認が必要。

税関では、書類が不足していないか、新品がある場合にはレシートコピーが不足していないかなど、書類の審査を行い、その後、荷物検査が行われる。書類と荷物の内容が合っているか輸入禁制品が入っていないかなどが検査され、お酒や新品などが免税枠を超えている場合には課税される。

なお、課税された場合には、税関に税金を納めないと輸入は許可されない。

## 輸入禁止品が発見された場合

日本国の法律により輸入が禁止されている品物は、海外からの国内持ち込みはできない（準備4を参照）。

輸入禁止品を輸入しようとして、荷物検査の際に発見された場合は、通関手続きに遅れが生じるばかりでなく、関

税法等による処罰を受けることがあるので、十分注意が必要。

※参考URL：税関「関税法の罰条」  
<http://www.customs.go.jp/shinyo/batsujo.htm>

またこの時、代行業者側に予定外の作業が発生した場合、諸作業にかかった費用は自己負担となる。

## 3 お荷物の配達

輸入通関が終了次第、荷物の配達。  
事前に準備を済ませておく。

輸入通関が終了次第、荷物が配達されるので、準備をしておく。この時、日本に残しておいたもの（残置荷物）を先に受け取っておくと、荷物の整理が楽にできる。

また梱包明細書を参考に、どの部屋にどのお荷物を入れるか決めておこう。スムーズに荷物を引き取ることができる。

管理人がいるマンションなどの場合には、引越しの日付、エレベーターの使用許可、駐車場の確保、オートロックの解除などを管理人に伝えておく。

## 配達当日

配達当日は、引越し業者が梱包番号を読み上げるので、どの部屋に入れるか指示しよう。すべての荷物を引き取ったら、業者と改めて不足している荷物がいないか確認する。

冷蔵庫は設置後、ガスが安定するまで3時間程度待ってから電源を入れる。



## 到着空港ですぐに手続き 「別送品受付カウンター」

日通では、迅速に荷物の通関準備をさせていただくために、成田・羽田・関西・中部・福岡の各国際空港で携行品・別送品申告書とパスポートをお預かりするサービスを行っております。各空港の別送品申告書等受付カウンターにお立ち寄りください。このカウンターでお荷物の輸入通関の委任状をご記入いただきます。新千歳空港、仙台空港、広島空港ではお預かりサービスカウンターの設置がございませんので、お手数ですが「携帯品・別送品申告書」と「パスポート・コピー」を日本通運担当店所へ郵送してください。

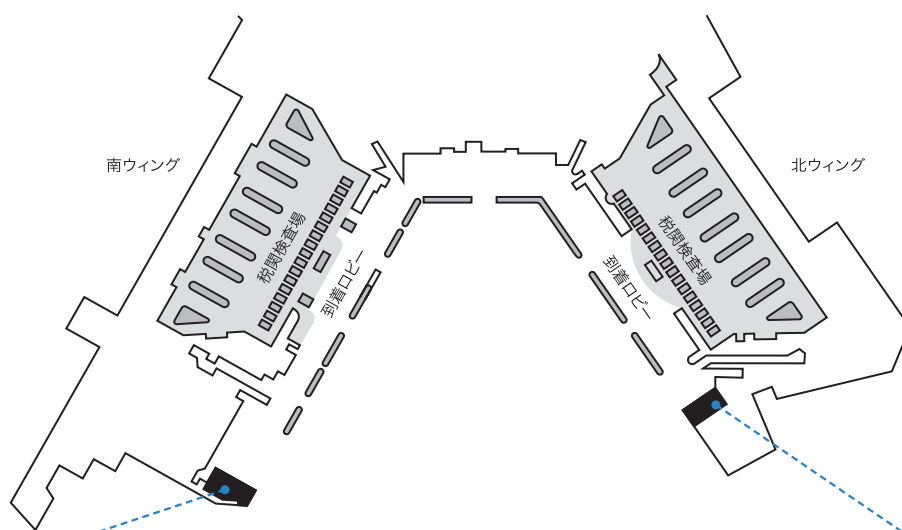
### 注意

- ・滞在地でパスポートを更新している場合には古いパスポートも必要です。日本を出国した日のスタンプのページをコピーします。ない場合には出国した年月日を口頭で伝えてください。パスポートはコピーを取りその場でお返しします。
- ・ビザ滞在許可書等をパスポートとは別でお持ちの場合は、コピーを取りその場でお返しします。出国までに滞在先でVISA等を返納される場合は事前にコピーを取っておいてください。
- ・鍵のかかったスーツケースなどがある場合には鍵を預けてください。

## 成田国際空港 <https://www.narita-airport.jp/jp/>

※第1・第2旅客ターミナルに設置しています。第3旅客ターミナル到着の場合は、第2旅客ターミナルのカウンターをご利用ください。

### 第1旅客ターミナル到着階(1F)



#### 〈南ウイング〉

JAL ABC 到着宅配カウンター兼  
別送品申告書等受付カウンター

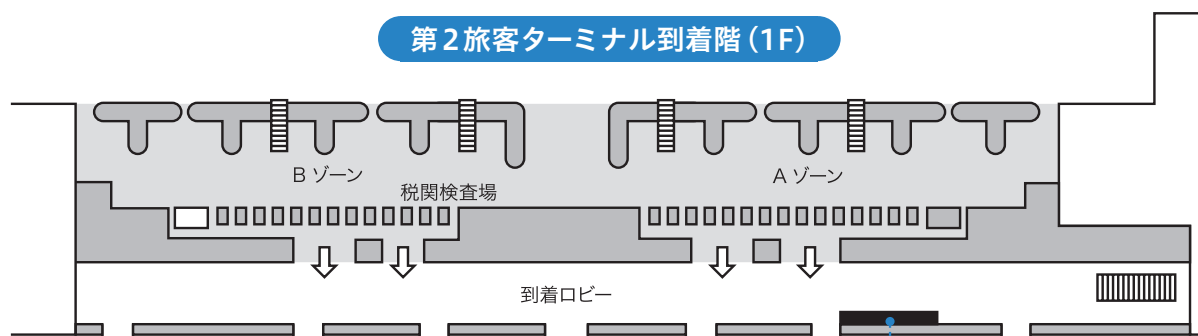
受付時間 6:00～最終便まで

#### 〈北ウイング〉

JAL ABC 到着宅配カウンター兼  
別送品申告書等受付カウンター

受付時間 6:00～最終便まで

### 第2旅客ターミナル到着階(1F)



JAL ABC 到着宅配カウンター兼  
別送品申告書等受付カウンター

受付時間 6:00～最終便まで



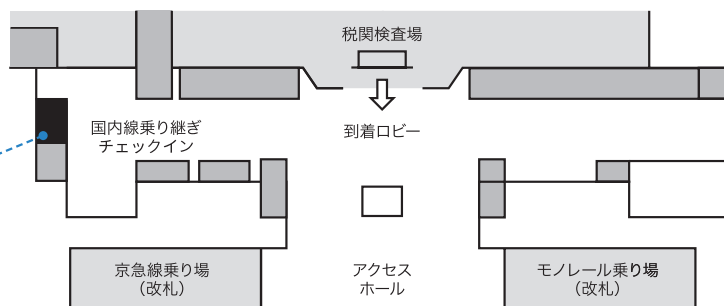
## 羽田空港（東京国際空港）

<https://www.haneda-airport.jp/>

### 第3旅客ターミナル到着階（2F）

JALABC到着宅配カウンター

受付時間 24時間

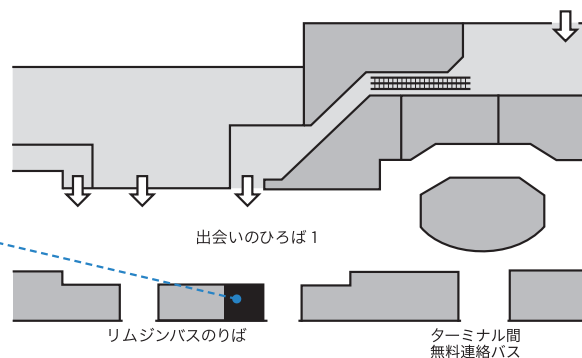


### 第2旅客ターミナル国内線到着階（1F）

※国際線到着ロビーは2Fとなります。

日本通運宅配カウンター

受付時間 8:00～19:00



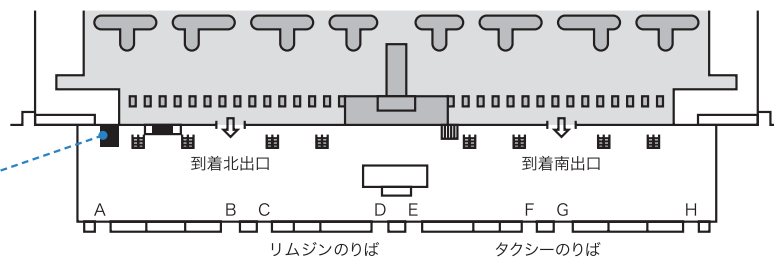
## 関西国際空港

<http://www.kansai-airport.or.jp/>

### 第1旅客ターミナル到着階（1F）

関西エアポートバゲージサービス

受付時間 6:30～22:30



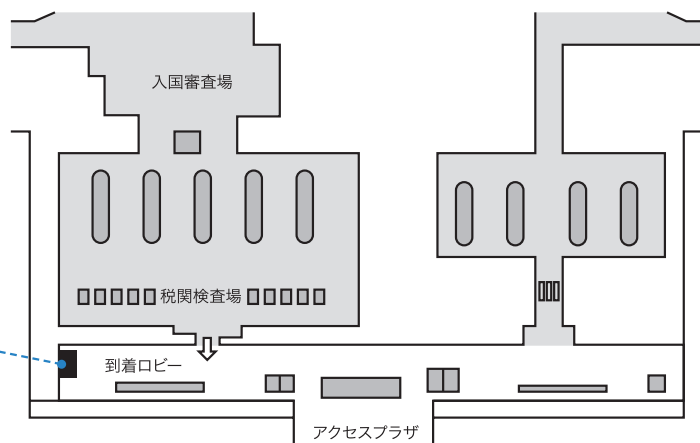
## 中部国際空港

<https://www.centrair.jp/>

### 第1旅客ターミナル到着階（2F）

保税手荷物受取所

受付時間 7:00～22:00



## 福岡空港

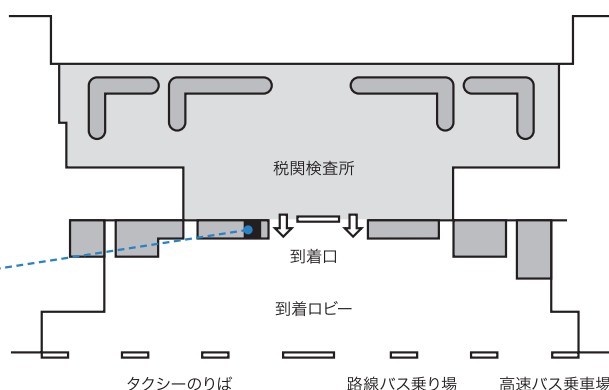
<https://www.fukuoka-airport.jp/>

### 国際線旅客ターミナル到着階（1F）

宅配カウンター

（手荷物宅配・手荷物一時預かり）

受付時間 8:00～21:40



※各種事情により営業時間変更の場合があります。

A world map composed of orange dots, with the text "A L N E T W O R K" overlaid in large, orange, spaced-out letters. Three inset photos show Nippon Express trucks and facilities in Hong Kong, Chicago, and New York. The Hong Kong photo shows a truck in front of a clock tower. The Chicago photo shows a truck in front of a modern building. The New York photo shows a truck in front of a city skyline. Each photo has a red banner at the bottom with the city name in Japanese: 香港 (Hong Kong), シカゴ (Chicago), and ニューヨーク (New York).



# 日本通運 GLOB



上海



中国



インド



シンガポール



オーストラリア

## 世界47ヶ国314都市733拠点

海外子会社	12社
海外孫会社	102社
海外関連会社	9社
海外駐在員事務所	2ヶ所

(2021年3月31日現在)

## 欧州地域

### 欧州地域総括

Marie-Bernays-Ring 23A  
41199 Mönchengladbach  
GERMANY

#### NETHERLANDS

Amsterdam  
Maastricht  
Nijmegen  
Rotterdam  
Voorschoten

#### U.K.

Derby (East Midlands)  
Glasgow  
London  
Manchester  
New Castle  
Swindon

#### IRELAND

Dublin

#### GERMANY

Dusseldorf  
Eching  
Frankfurt

Hamburg  
Hanover  
Munich  
Neu-Isenburger  
Nuremberg  
Rade  
Stuttgart  
Viersen

#### AUSTRIA

Vienna

#### HUNGARY

Budapest

#### CZECH REPUBLIC

Prague

#### POLAND

Gliwice  
Warsaw  
Wroclaw

### ROMANIA

Timisoara

### FINLAND

Helsinki

### SWITZERLAND

Cadempino  
Contone  
Geneva  
Novazzano  
Stabio  
Zurich

### BELGIUM

Brussels  
Liege  
Willebroek

### SPAIN

Alicante  
Barcelona  
Bilbao  
Madrid

### PORTUGAL

Lisbon  
Porto

### FRANCE

Lyon  
Paris  
Savigny sur Clairis  
Toulouse

### ITALY

Bitonto  
Bologna  
Brescia  
Civitanova Marche  
Fidenza (Parma)  
Florence  
Genova  
Milan  
Modena  
Pescara  
Piacenza  
Pistoia  
Rome  
Trento  
Verona  
Vicenza

### UNITED ARAB EMIRATES

Dubai

### TURKEY

Istanbul

### RUSSIA

Izhevsk  
Moscow  
St.  
Petersburg  
Togliatti  
Vladivostok  
Yaroslavl

### SWEDEN

Gothenburg  
Malmoe  
Stockholm

### NORWAY

Oslo

### Kenya

Nairobi

### Morocco

Casablanca  
Tangier

## 東アジア地域

### 東アジア地域総括室

G11-11F Shanghai Mart 2299  
West Yan an Road Shanghai 200336  
CHINA

### CHINA

Beijing(北京)  
Changchun(長春)  
Changsha(長沙)  
Changshu(常熟)  
Changzhou(常州)  
Chengdu(成都)  
Chongqing(重慶)  
Dalian(大連)  
Dongguan(東莞)  
Foshan(佛山)  
Fuzhou(福州)  
Guangzhou(廣州)  
Hangzhou(杭州)  
Hefei(合肥)  
Hong Kong(香港)  
Jiaxing(嘉興)  
Kunshan(昆山)  
Lianyungang(連雲港)  
Nanchang(南昌)  
Nanjing(南京)

Nanning(南寧)  
Nantong(南通)  
Ningbo(寧波)  
Pinghu(平湖)  
Pingxiang(萍鄉)  
Qingdao(青島)  
Shanghai(上海)  
Shantou(汕頭)  
Shaoxing(紹興)  
Shenzhen(深圳)  
Shenyang(瀋陽)  
Suzhou(蘇州)  
Tianjin(天津)  
Wenzhou(温州)  
Wuhan(武漢)  
Wuxi(無錫)  
Xiamen(廈門)  
Xi'an(西安)  
Xiangyang(襄陽)  
Yantai(煙台)  
Zhengzhou(鄭州)  
Zhongshan(中山)

Zhuhai(珠海)

### KOREA

Busan  
Changwon  
Gimpo  
Incheon  
Seoul  
Yongin(龍仁)

### TAIWAN

Hsinchu(新竹)  
Kaohsiung(高雄)  
Keelung(基隆)  
Taichung(台中)  
Tainan(台南)  
Taipei(台北)  
Taoyuan(桃園縣大園鄉)

### KAZAKHSTAN

Almaty

(国際貨物ビル)

北海道千歳市平和1388・7

〒066・0044

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730

TEL(0123)26・0505

FAX(0123)26・0730